



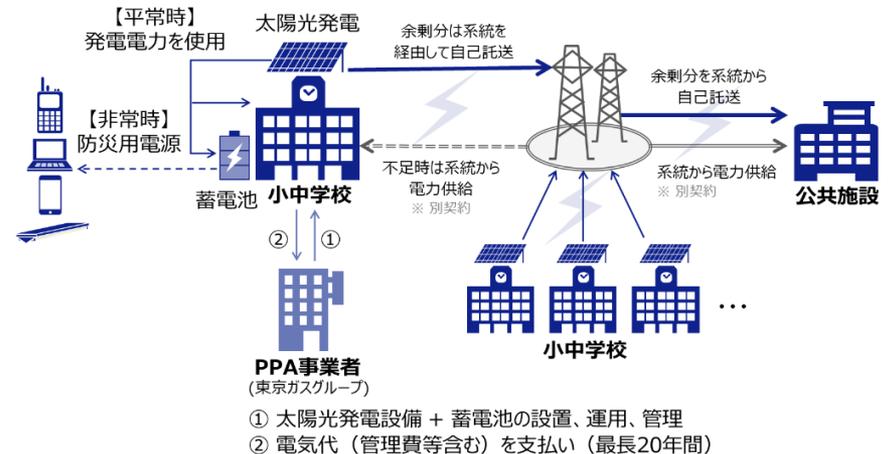
- 社名(商号)： 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
- 本社所在地： 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング
- 事業エリア： 日本全国、海外
- 定格容量： 1,498 MW
(東京ガスグループ国内外の再エネ容量合計・持分換算後、2022年3月時点)
- 公式HP：<https://www.tokyogas-es.co.jp>

取組み事例：横浜市小中学校への太陽光&蓄電池によるPPA事業

取組み概要

- 本事業は、2022年度から23年度にかけて横浜市立の小中学校65校へ当社グループが設置する太陽光発電設備と蓄電池から、各学校の総消費電力の2～3割程度を供給し、年間1,700tのCO2排出を削減します。
- 休祝日や長期休暇時など学校の電力需要がない時期には、余剰電力を同市内の公共施設に自己託送*をすることで、太陽光発電による再エネ電力の100%地産地消を目指します。
- 太陽光発電設備とあわせて設置する蓄電池については、1校あたり平均約20kWhを設置し、停電時には非常用電源として活用し、特定の照明やコンセントなどに電力供給します。

※TGESの独自技術である「ヘリオネットアドバンス」(エネルギーサービス設備遠隔管理システム)を活用し、各太陽光発電設備の発電量と各施設の電力需要を予測し、予測結果に基づき、全自動での自己託送オペレーションを実現します。



事業者	東京ガス株式会社 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社	所在	神奈川県横浜市内
施設名(用途)	市立小中学校	スケジュール	2022年度～2023年度 順次運転開始

取組み事業：風力発電事業（鹿島洋上風力）

取組み概要

- 2018年4月より株式会社ウィンド・パワー・エナジーが茨城県鹿島港の港湾区域において計画を進める鹿島洋上風力発電事業へ参画し、事業化に向け検討を行っています。
- 2021年4月には株式会社ウィンド・パワー・グループ、日本風力エネルギー株式会社（以下「ヴィーナ・エナジー」）および当社グループは、鹿島洋上風力発電事業の開発を共同で推進していくことを決定いたしました。
- 茨城県発の風力発電事業会社として豊富な経験のあるウィンド・パワー・グループ、関東圏を中心としたエネルギーの安定供給実績のある当社グループ、また国内外において風力発電事業の開発・建設・運営管理の実績を多数有するヴィーナ・エナジーの3社が、それぞれの強みを発揮し連携しながら、2024年度の着工を目指し本事業の開発を進めていきます。



*イメージ図

事業者	(株)ウィンド・パワー・グループ、東京ガス(株)、日本風力エネルギー(株)
発電容量	約16万kW
スケジュール	2024年度着工

取組み事業：バイオマス発電事業（伏木万葉埠頭）

取組み概要

- バイオマス発電は、乾燥した木材を細粉・圧縮成形した木質ペレットなどを燃焼し、発生する蒸気でタービンを回すことで発電します。光合成によりCO2を吸収する木を原料としているため、バイオマス発電はCO2を排出しないものとされています。



- 2020年9月、伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社を当社が単独で取得しました。当社が保有するバイオマス発電所の中で初となる商業運転を予定しています。



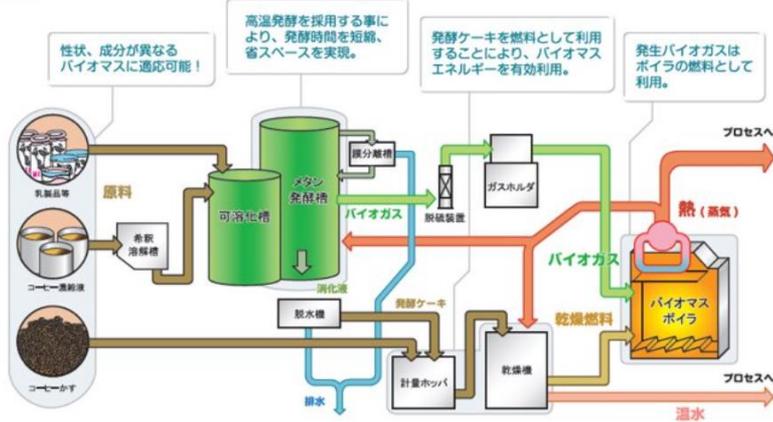
事業者	伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社 (東京ガス(株))
発電容量	51,500kW
スケジュール	2022年度 運転開始予定

取組み事業：工場におけるバイオマス熱利用事業

取組み概要

- 森永乳業(株)神戸工場では、従来からの環境先進の取組みに加え、バイオマス熱利用設備を導入し、脱炭素化に推進しています。このバイオマス熱利用設備は、製造工程で発生するコーヒーかすや、コーヒー飲料、ヨーグルト等のバイオマスを再生可能エネルギーとして燃料化し、バイオマスボイラやメタン発酵設備を用いて蒸気を発生させます。工場内の未利用資源に着目し、これを有効に活用することで、CO2の削減を実現しました。
- 本設備の導入に当たり、東京ガスエンジニアリングソリューションズが提供するエネルギーサービスをご採用いただいております。設備計画～運転保守までワンストップで行い、快適にバイオマス熱をご利用いただけるよう努めております。

システムフロー



事業者	森永乳業(株)神戸工場 東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)
発生熱量	約140GJ/d
スケジュール	2008年着工